

DSX ケーブルアナライザーにない ケーブル・タイプのケーブル試験はどのように行う？



2021 年 02 月 12 日

Fluke Networks

フルーク・ネットワークス “ナレッジベース” より転載・翻訳

<https://jp.flukenetworks.com/support/knowledge-base/dsx-cableanalyzer-series/cable-type-not-listed-dsx-cableanalyzer>

はじめに

「助けて！テストする必要のあるケーブルがケーブル・ライブラリにリストされていません！」という声がサポート・センターに良く飛び込んできます。

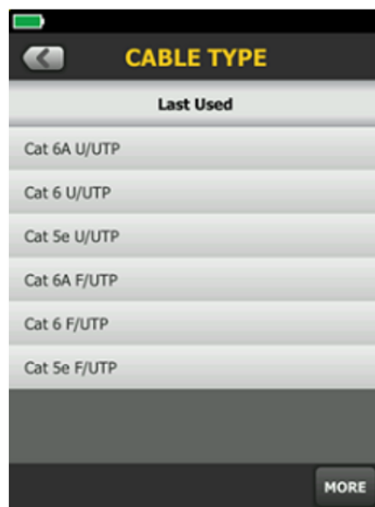
これは、DSX ケーブルアナライザーを使用していた時に発生した問題でしょうか？もしそうなら、最初にすべきことは、お使いの Versiv のファームウェアが最新であるかどうかをチェックすることです。これを行うには、Versiv ホーム画面の [ツール] をタップしてから、[バージョン情報] オプションを選択します。DSX のファームウェアを更新する手順をお知りになりたい方は、[この記事](#)をご覧ください。

Versiv メイン・ユニットにすでに最新のソフトウェアがインストールされていても、探しているケーブル・タイプが見つからない場合は、カスタム・ケーブル・タイプとして追加することをお勧めします。カスタム・ケーブル・タイプの追加は簡単で、(正しく行われた場合ですが) テスターに事前にプログラムされているケーブル・タイプを選択する場合と何ら変わりません。カスタム・ケーブル・タイプを作成する前に、この設定の機能を理解する必要があります。

ケーブル・タイプの設定はテストにどのような影響を与えるの？

DSX ケーブルアナライザーでケーブル・タイプを選択する際に考慮すべき 3 つの要素があります：

1. ケーブルの名前 - これはテストには影響しませんが、テスト・レポートの名前に反映されるため、正確に設定する必要があります。必要に応じて、[LinkWare PC ケーブル・テスト管理ソフトウェア](#)を使用して後で変更することもできます。
2. 非シールドまたはシールド - テスターは、シールド・テストを実行できるかどうか、実行できる場合はどのタイプのシールドをテストするかを知る必要があります。フルーク・ネットワークスは、ケーブル・タイプに ISO/IEC の名称方式を採用しています。下の画像をご覧ください。



U/UTP

- 個々のペアは非シールド
- ケーブル全体も非シールド

F/UTP

- 個々のペアは非シールド
- ケーブル全体は非シールド

S/FTP

- 個々のペアはシールド
- ケーブル全体もシールド

3. ケーブルの NVP（公称伝搬速度）値 - これは長さの測定に影響します。NVP の詳細については、[このビデオを参照](#)してください。NVP は、LinkWare PC ケーブル・テスト管理ソフトウェアの“再認証”機能を使用して後で変更することもできます。ただし、これを行うと再認定済みとしての印（RC）が試験結果に付き、顧客の多くは再認定済みの結果を受理しない可能性があることに注意する必要があります。最初に、正しい設定を使用していることを常に確認することをお勧めします。これにより、現場に戻ってケーブルを再テストする必要がなくなります。

ケーブル・タイプ設定でできないこと:

ケーブル・タイプの設定について理解するために重要なことは、設定はテスターに試験されるべきケーブルのタイプが何なのかを伝えるだけで、試験しようとしている方法をテスターに伝えないということです。すなわち、その方法は、テスト・リミットの設定によって決定されます。テスト・リミットの詳細については、[この記事](#)をご覧ください。また、カスタム・ケーブル・タイプを作成する手順については、[この記事](#)をご覧ください。

フルーク・ネットワークスについて

フルーク・ネットワークスは、優れた認証/トラブルシューティング/インストレーション・ツールを提供する世界大手企業です。当社の製品は、重要なネットワーク・ケーブル配線インフラを設置・保守する技術者を対象にしています。弊社は、信頼性と比類ない能力において高い評価をいただいております。最先端のデータ・センターの設置から災害時の電話サービスの復旧作業に至るまで、すべての作業を効率的に行います。

DSX-8000 CableAnalyzer™ - メタル配線認証手順のステップの時間短縮を加速化します



[DSX-8000 CableAnalyzer](#) は、最も厳しい測定精度要件である TIA の精度レベル 2G に適合する一方、比類のないスピードで Cat 8 および Class I/II のメタル認証試験を効率化します。ProjX 管理システムは、作業の確実な実施を実現し、試験のセットアップからシステムの検収までの作業進捗状況の把握を容易にしてくれます。Versiv プラットフォームは、光ファイバー試験 (OLTS と OTDR の両方) もサポートします。このプラットフォームは、将来の規格改定へのサポートに備え、容易にアップグレードが可能です。近端漏話、反射およびシールド不良を含む不良原因のグラフィカルな表示を行う Taptive (タップティブ) インターフェースにより不良原因のより素早いトラブルシューティングができます。また LinkWare PC 管理ソフトウェアを使用し、試験結果の解析と専門的なテストレポートの作成が可能です。

CertiFiber® Pro - 光ファイバー認証試験プロセスのすべての段階の作業効率を上げ、加速化します

[CertiFiber® Pro](#) は、2 波長、2 本の光ファイバー認証の効率を改善し、試験をわずか 3 秒で実施できます。Taptive (タップティブ) インターフェースにより、セットアップの簡素化、間違いの排除、さらにトラブルシューティングのスピードアップが図れます。基準値設定の自動ガイダンス機能により、確実な基準値設定が可能になり、負の損失結果発生もなくなります。OptiFiber Pro モジュールと組み合わせて、Tier 1 (基本) / Tier 2 (拡張) 試験とレポート作成のすべてを行えます。便利な 4 波長モジュール によって、シングルモードとマルチモードの両方に対応できるばかりでなく、マルチモードの EF 適合性能もサポートします。



OptiFiber® Pro OTDR - データ・センター/企業向け光パルス試験器



[OptiFiber® Pro OTDR](#) は、業界初の企業/データ・センターの課題解決向けに一からデザインされた光パルス試験器です。シンプルでこれまでにない効率性、さらにキャンパス、データ・センターおよびストレージ・ネットワークのトラブルシューティングに正に必要な機能群を組み合わせたツールで、現場の技術者を、専門知識を備えた光ファイバー専門技術者に変えてしまいます。すなわち、業界唯一のスマートホン・タイプのユーザー・インターフェースを備えることで光ファイバー試験を新たな高みに導きました。そして、DataCenter OTDR コンフィギュレーションにより、データ・センター試験における不確実性やエラーが排除されます。その極めて短いデッドゾーンにより仮想化データ・センターにおける光ファイバー・パッチコード試験も可能にします。

FI-7000 FiberInspector™ Pro - 光ファイバー・コネクタ端面を 2 秒で自動合否判定

[FI-7000 FiberInspector™ Pro](#) は、汚れ、へこみ、小片、および傷による問題箇所をグラフィカルに表示します。業界標準規格の IEC 61300-3-35 に基づき判定できるため、端面検査における主観的な判断を削除することができます。



Versiv 製品選択ガイド

VERSIV KITTS - CONFIGURATOR

お問い合わせ 03-6716-3117 (日本)
1-800-488-0088 (代客販売)

VERSIV をどのように使いますか?

選択ガイドへのリンク

フルーク・ネットワークス

株式会社 テクトロニクス&フルーク フルーク社

〒108-6106
東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ B 棟 6F
TEL 03-4577-3972 FAX 03-6714-3118

Web サイト: <https://jp.flukenetworks.com>
©2022 Fluke Networks Inc. All rights reserved.
Printed in Japan 10/2022 7003860B